

美術領域

○デジタルスタジオ



○彫刻アトリエ



○絵画アトリエ



○卒業制作展



○美術科教育での実践研究



○まんのう公園でのWS



1. 美術領域の目的と具体的取り組み

美術領域では、学生が卒業後に美術教育に関わる教師として自立できるよう以下を目標に専門的力量教育実践力を養うことを目的としています。

1. 美術に関する基本的概念や専門的基礎を学ぶ
2. 図画工作、美術に関する専門的内容を美術科教育の実践へと展開する方法を学ぶ
3. 小学校、中学校および高等学校の図画工作・美術科で扱う教材に関して学ぶ
4. 卒業研究では、平面および立体に関する課題について専門的研究を行い、卒業論文または卒業制を行う

2. 小学校教育コースと中学校教育コース

小学校教育コースでは、小学校教諭一種免許状に必要な全教科を学びます。単位を積み増すことで中学校教諭免許を取得できます。中学校教育コースでは中学校教諭一種免許「美術」に必要な専門的内容を深く学びます。単位を積み増すことで高等学校免許状「美術」の免許を取得できます。

3. 教育活動

美術領域では、教育実践力の向上とコミュニケーション能力の向上を目的として、外部発表や地域活動を重視しています。特に香川県で開催されているアートプロジェクトに積極的に参加し、作品の出品だけでなく、運営の補助や各種WSの講師や補助、地域コミュニティーの一員として活動することで本領域の需要はさらに高まっています。近年では、香川大学アートプロジェクトチームなどとして「かがわ・山なみ芸術祭」や国営讃岐まんのう公園での「あじさいパラソルを作ろう」などのイベントに参加し活躍しています。